

学校教育目標 人権尊重の精神を基盤とし、予測困難な時代を他者と共に豊かに生き抜く児童の育成を目指す。「1. よく考え工夫して学ぶ子 1. 心あたたかく助け合う子 1. すすんでからだづくりに取り組む子 ◎よりよい生き方を求め続ける子」

○目指す学校像 保護者・地域との連携によって教育活動をすすめて、子供たちが主体的に学ぶことのできる学校
 ○目指す児童像 互いを尊重し合い、礼儀正しく行動できる児童
 ○目指す教師像 教育公務員としての自覚をもって研鑽に励み、実践的指導力を磨く教員

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価記入欄	評価			
学力の向上	確かな学力の向上を目指し、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等学習の基盤となる資質・能力を育成する。	授業の改善・充実を図り、主体的に学習に取り組み、友達と協働して学びを深める児童を育成する。	主体的な学びを支える基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習熟を図る。	4 90%以上の指導場面で実施	3.7	4 単元ごとの習熟度テスト「知識・技能」の観点で80点以上が95%	3.1	今年度も3以上を維持。授業改善や家庭学習が成果に結びついている。	次年度も授業改善、個別指導、タブレット端末の活用を組み合わせて基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習熟を図っていく。	基礎基本が確実に身に付くとよい。IT化が進む中、画一的な考えにならないよう、創意工夫して学習や体験ができることよい。	A			
				3 80%以上の指導場面で実施		3 単元ごとの習熟度テスト「知識・技能」の観点で80点以上が85%								
				2 70%以上の指導場面で実施		2 単元ごとの習熟度テスト「知識・技能」の観点で80点以上が75%								
				1 70%未満の指導場面で実施		1 単元ごとの習熟度テスト「知識・技能」の観点で80点以上が75%未満								
			授業形態の研究・改善を行い、課題解決力や協働して学ぶ態度を養う。	4 年間4回以上、授業改善のために授業公開をする。	3.6	4 教師の90%以上が取組指標の3か4に○	4	5月より、新型コロナの影響を受けずにグループ学習が実施できるようになった。	次年度も継続	児童相互の話し合いの場は重要であり、グループで活動できるようになったことはよかった。				
				3 年間3回以上、授業改善のために授業公開をする。		3 教師の80%以上が取組指標の3か4に○								
				2 年間2回以上、授業改善のために授業公開をする。		2 教師の70%以上が取組指標の3か4に○								
				1 年間2回未満、授業改善のために授業公開をする。		1 教師の70%未満が取組指標の3か4に○								
			一人1台のタブレット端末を活用し、基礎基本の定着や主体的・協働的な学習の充実に役立てる。	4 1人1台端末 1日1回以上使用	2.9	4 教師の90%以上が取組指標の3か4に○	3	低学年においては毎日の活用は難しい。成果指標は昨年度と同じだが、1人1台端末活用が当たり前となっている。	次年度も継続	1年生から1人1台端末の活用を続けていくことで、端末の活用が定着するとよい。				
				3 1人1台端末 ほぼ毎日使用		3 教師の80%以上が取組指標の3か4に○								
				2 1人1台端末 週3～4日程度の使用		2 教師の70%以上が取組指標の3か4に○								
				1 1人1台端末 週3～4日未満の使用		1 教師の70%未満が取組指標の3か4に○								
豊かな心の育成	道徳教育の充実を図り、自他を大切に、他者とともに生きようとする児童を育成する。	道徳教育の要である道徳科の授業実践を確実に、「親切、思いやり」「礼儀」を重点に、児童の道徳性を養う。	教科書を使い、別業に則った道徳の授業を計画的に行う。	4 90%以上の指導場面で実施	3.6	4 教師の90%以上が取組指標の3か4に○	4	新型コロナの影響を受けずに授業公開が実施できた結果、昨年度の成果指標3より向上した。	次年度も年間指導計画、別業に基づいて、進めていく。	道徳教育は重要であり、成果指標が向上したことはよかった。	A			
				3 80%以上の指導場面で実施		3 教師の80%以上が取組指標の3か4に○								
				2 70%以上の指導場面で実施		2 教師の70%以上が取組指標の3か4に○								
				1 70%未満の指導場面で実施		1 教師の70%未満が取組指標の3か4に○								
			児童の変容を見取るために、道徳科の授業での振り返りの記録を残す。	4 90%以上の指導場面で実施	3.6	4 教師の90%以上が取組指標の3か4に○	4	道徳教科書の振り返りを活用して、児童の変容を記録していくことができた。	次年度も継続	これからも児童1人1人の細やかな見守りを続けてほしい。				
				3 80%以上の指導場面で実施		3 教師の80%以上が取組指標の3か4に○								
				2 70%以上の指導場面で実施		2 教師の70%以上が取組指標の3か4に○								
				1 70%未満の指導場面で実施		1 教師の70%未満が取組指標の3か4に○								
			全教育活動を通して、児童一人一人のよさに目を向けさせる。	4 ほぼ毎日実施	3.6	4 「児童アンケート」で「自分にはよいところがある」肯定的評価90%以上	3	今年度は学校行事、連合行事等が制限なく実施され活躍の場が増えた。児童の肯定的評価は87.8%と昨年度より11ポイント上昇。	次年度も、児童相互の認め合いの場を増やし、自己肯定感を高める指導を工夫する。	自分を相手に認めてもらい、相手のことも認めるよう努力することが大切。認め合いの時間を多く設定できるとよい。				
				3 週3～4日程度の実施		3 「児童アンケート」で「自分にはよいところがある」肯定的評価80%以上								
				2 週2日程度の実施		2 「児童アンケート」で「自分にはよいところがある」肯定的評価70%以上								
				1 週2日未満の実施		1 「児童アンケート」で「自分にはよいところがある」肯定的評価70%未満								
健やかな心と体の育成	豊かな体験活動を通して、運動習慣の確立や体力の向上を図り、健やかな心と体を育成する。	体育活動の充実を通して、運動に親しむとともに、体力の向上や健康の保持に関心をもつ児童を育てる。	体育科の授業の充実を図るとともに、月1回の体育朝会を計画的、組織的に実施し、体育的な活動への興味・関心を高める。	4 90%以上の指導場面で実施	3.7	4 「児童アンケート」で「体育的な活動が楽しい」肯定的評価90%以上	3	肯定的評価87.9%。体育科の研究、体育朝会の復活などを通して、体育的な活動への興味・関心を高められた。	次年度も継続	体力の低下が心配。体力の向上に向けて体育、食育に力を入れて取り組んでほしい。	A			
				3 80%以上の指導場面で実施		3 「児童アンケート」で「体育的な活動が楽しい」肯定的評価80%以上								
				2 70%以上の指導場面で実施		2 「児童アンケート」で「体育的な活動が楽しい」肯定的評価70%以上								
				1 70%未満の指導場面で実施		1 「児童アンケート」で「体育的な活動が楽しい」肯定的評価70%未満								
			いじめや問題行動の未然防止と早期対応を図るとともに、特別な支援を要する児童についても全校体制で対応する。	4 問題に対して90%以上で組織的な対応実施	3.8	4 「児童アンケート」で「友達と楽しく過ごしている」肯定的評価90%以上	4	児童の肯定的評価は96.5%。毎週の生活指導夕会で児童の情報共有することで、全教職員の児童理解も深まった。	次年度も継続	児童、保護者の声をよく聞き、いじめに対して早期対応をお願いしたい。				
				3 問題に対して80%以上で組織的な対応実施		3 「児童アンケート」で「友達と楽しく過ごしている」肯定的評価80%以上								
				2 問題に対して70%以上で組織的な対応実施		2 「児童アンケート」で「友達と楽しく過ごしている」肯定的評価70%以上								
				1 問題に対して70%未満で組織的な対応実施		1 「児童アンケート」で「友達と楽しく過ごしている」肯定的評価70%未満								
			信頼される学校	地域の絆を大切にしながら、地域・保護者との連携・協働を進め、信頼され、愛される学校作りを行う。教職員の資質・能力の向上に努め、健康でいきいきとやりがいをもって働く職場作りを行う。	情報を発信・共有・提案し、協力関係や信頼関係を築く。	・保護者・地域に必要な情報はこまめに連絡し共有する。	4 90%以上の必要な情報について実施	3.7	4 保護者アンケート「相談しやすい」で肯定的評価が90%以上	3	保護者会、個人面談が予定どおり実施できた。学校HP「学校の様子」にこれまでに91件の記事を掲載した。	次年度も継続	HPから日頃の児童の様子がよくわかった。さらに協力関係を築いていきたい。	A
						3 80%以上の必要な情報について実施	3 保護者アンケート「相談しやすい」で肯定的評価が80%以上							
						2 70%以上の必要な情報について実施	2 保護者アンケート「相談しやすい」で肯定的評価が70%以上							
						1 70%未満の必要な情報について実施	1 保護者アンケート「相談しやすい」で肯定的評価が70%未満							
地域の教材化、人材活用を行い、地域と連携した学習を推進する。	・「台東区」を中心とした、地域資源を活用し、地域と連携した学習を推進する。	4 3単元以上計画			3.5	4 3単元以上実施	3.4	新型コロナの影響を受けずに、地域学習を計画通りに進めることができた。	次年度は創立120周年を記念して、地域学習を充実させていく。	町探検や地域学習などで、時間をかけて児童に伝えることがあれば、今後も協力していきたい。	A			
	3 2単元以上計画	3 2単元以上実施												
	2 1単元以上計画	2 1単元以上実施												
	1 計画がない	1 計画がない												
教職員が組織の中で責任をもって役割を果たし、計画的に実行する。	職層や分掌ごとの研修や今日の教育課題に関する研修等を計画的に実施する。	4 OJTやミニ研修等を年間12回以上行う。			3.5	4 教職員のアンケートで研修に対する満足度90%以上	3.6	作成した年間予定に基づいて実施することができた。また必要に応じて短時間の研修も実施できた。	次年度も年間指導計画に基づいて、進めていく。	引き続き、取組を続けてほしい。	A			
	3 OJTやミニ研修等を年間10回以上行う。	3 教職員のアンケートで研修に対する満足度80%以上												
	2 OJTやミニ研修等を年間8回以上行う。	2 教職員のアンケートで研修に対する満足度70%以上												
	1 OJTやミニ研修等を年間8回未満行う。	1 教職員のアンケートで研修に対する満足度70%未満												